

## 令和3年度 西日本地区会 開催



令和4年3月18日、西日本地区会（代表幹事：加藤健/(株)オーイーシー 代表取締役社長）が令和3年度例会をオンライン開催し、35名が参加した。

加藤代表幹事の「大きな時代の変化の中で、異次元の経済危機に直面している。更に情報共有を行い、力を合わせて乗り切っていきましょう。」という挨拶で開会し、舩越真樹副会長から「DXをどう推進していくかだけでなく、C(コーポレーション)X、S(サステイナブル)Xについても考えていく必要がある。西日本地区会がJISAの大きな流れを作りたい。」と挨拶があった。

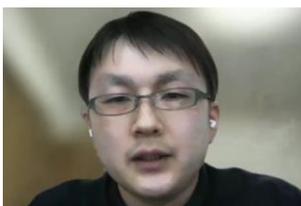
まず、経済産業省 商務情報政策局 情報産業課ソフトウェア・情報サービス戦略室 課長補佐 沖藤圭祐氏から、デジタル産業への変革に向けた研究会でのDXレポート続編についての検討状況などについて説明があった。

次に、宮本武史副会長・専務理事が、情報産業振興議員連盟総会やパートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化会議における政府への働きかけ、地方創生テレワーク推進パートナー連携協定締結など、JISAの活動について報告した。

休憩を挟んで、西日本地区の会員企業2社による事例発表が行われた。

(株)両備システムズ アウトソーシング事業部の市川誠氏、大霜孔司氏は、手書き文字の認識精度を高度化し、高速処理で大量帳票のデータ化を実現するAI OCRサービス「Tegaki」((株) Cogent Labs)を活用した、ワクチン接種管理業務における自治体DXを支援する取組を紹介した。

左から市川氏、大霜氏



松尾氏

(株)オーイーシー DXソリューション部の松尾優氏は、社内勉強会「DX塾」や資格取得を推進する同社の人材育成に関する取組、パートナー企業とのワークショップや大学とのアイデアソン等共創を起点としたDX活動から生まれた、遺失物管理や駐車場利用状況の可視化など、実ビジネスの課題をAIによって解決するソリューションについて発表した。

(赤尾)